



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

しらこぼと

2006.8

No. 268

日本野鳥の会 埼玉県支部

S H I R A K O B A T O



平成 18 年度(第 22 回)支部総会を開催 活動の重点は、会員増加と渡良瀬署名活動

平成 18 年 6 月 25 日(日)午後 1 時 30 分から、さいたま市埼玉会館で、支部総会を開催しました。

●記念講演

田邊八州雄の司会で始まり、記念講演は、本部総務室長の原元奈津子氏(右写真)の「野鳥の会本部事務局の話あれこれ」。本部職員達の話に続き、保護区事業が紹介されました。



●議長など

藤掛保司支部長の開会の挨拶で総会が始まり、藤掛が議長に、橋口長和が書記、大坂幸男・田中幸男が議事録署名人に選出されて、議事に入りました。

●17 年度事業報告

海老原美夫事務局担当副支部長が平成 17 年度に実施した事業について説明し、各部長がそれぞれ補足説明、公民館などから依頼を受けて探鳥会を指導したリーダーなどが追加報告をしました。

〔総務・事務局関係〕

17 年度末の会員数は 2,310 人。年度内に 4 回前月比増加があったが、年度全体としては減少。但し減少率は減少した。

〔普及活動関係〕

普及部(部長:橋口長和)が担当した探鳥会は実施 109 回、1 ヶ月平均 9.1 回。参加者合計 4,743 人、1 回平均 46.5 人。ともに前年度比増加。

〔調査研究関係〕

研究部(部長:小荷田行男)はタカの渡り、カモ・ハクチョウ類、シギ・チドリ類の調査を継続し、野鳥分布調査を再開した。

記録委員会(委員長:小林みどり)は記録に

至らなかった 4 件について報告、1 種を県内まれな例として、1 種を初の記録として記録。

〔編集活動関係〕

編集部(部長:山部直喜)は『しらこぼと』を年 12 回、合計 25,200 部発行し、表紙の同年カラー化を定着させた。

〔事業活動関係〕

事業部(部長:福井恒人)は目標売上額を下回った。

●18 年度事業計画

今年度を会員増加 3 ヶ年計画の初年度と位置づけて、年度内の会員数減少ゼロを目指すこと、保護活動としては、渡良瀬遊水池のラムサール条約登録を目指す署名活動を重点活動とすることが説明されました。

17 年度事業報告と 18 年度事業計画は、一括承認されました。

●17 年度決算と 18 年度予算

17 年度決算について、仮払金というのは、普及部費用と編集部費用を予算額そのまま仮払金として一時支出し、次の年度で清算しているものであることなどを事務局担当が説明しました。岡安征也・楠見邦博両監事が監査報告をした後、今年度は関東ブロック会議を当支部で担当するので、そのための費用が含まれる 18 年度予算案について説明があり、一括して承認されました。

●18 年度役員

岡安征也、町田好一郎の 2 名から役員退任の申し出があり、前年度役員のうち 37 名を再任、新たに浅見徹・新井巖の 2 名を推薦する案が承認されました。

新役員の挨拶の後、総会を一時中断して 18 年度役員による最初の役員会を同じ場所で開催、支部長・副支部長・監事のうち楠見は前年度と同じ、退任した岡安監事の後任として石川敏男を選出することが議決されました。

平成 18 年度役員

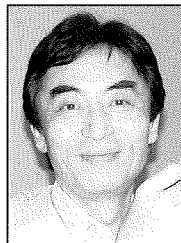
顧問	鈴木忠雄	熊谷市
	松井昭吾	さいたま市
支部長	藤掛保司	川越市
副支部長	海老原美夫	さいたま市
幹事	浅見 徹	さいたま市
	新井 巖	深谷市
	石井 智	鴻巣市
	石光 章	所沢市
	伊藤芳晴	川口市
	井上幹男	長瀨町
	内田孝男	古河市
	榎本秀和	鴻巣市
	大坂幸男	上尾市
	大澤 祐	深谷市
	北川慎一	本庄市
	喜多峻次	小川町
	工藤洋三	さいたま市
	倉林宗太郎	さいたま市
	小池一男	寄居町
	後藤康夫	嵐山町
	小荷田行男	さいたま市
	小林みどり	大和市
	佐久間博文	川越市
	島田恵司	鴻巣市
杉本秀樹	習志野市	
田中幸男	蓮田市	
田邊八州雄	越谷市	
玉井正晴	蓮田市	
手塚正義	川口市	
内藤義雄	鴻巣市	
中里裕一	騎西町	
長嶋宏之	蓮田市	
中島康夫	蓮田市	
長野誠治	さいたま市	
橋口長和	春日部市	
長谷部謙二	川越市	
菱沼一充	白岡町	
福井恒人	さいたま市	
山部直喜	三郷市	
監事	石川敏男	春日部市
	楠見邦博	さいたま市

平成17年度決算・18年度予算書

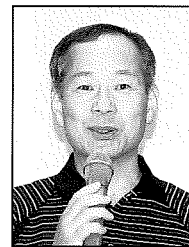
収入の部	項 目	17年度決算	18年度予算
一般会計	期首繰越金	4,269,260	4,391,599
	会費	3,497,800	3,500,000
	寄付金	21,531	10,000
	探鳥会参加費	306,400	300,000
	雑収入	27	10,000
	補助金	300,000	200,000
	仮払い金清算	75,835	0
	一般会計合計	8,470,853	8,411,599
事業部会計	事業部会計期首繰越金	1,701,353	1,762,609
	運営準備積立金	5,000,000	5,000,000
	事業部売上金	677,464	700,000
	事業部雑収入	386	1,000
	事業部会計合計	7,379,203	7,463,609
総合計		15,850,056	15,875,208

支出の部	項 目	17年度決算	18年度予算
一般会計	什器備品費	124,295	100,000
	消耗品費	11,886	20,000
	支部報印刷費	1,256,844	1,300,000
	支部報送送料	848,208	900,000
	印刷コピー代	88,665	200,000
	通信費	132,267	150,000
	雑費	133,894	130,000
	家賃	984,000	1,100,000
	水道光熱費	51,885	60,000
	総務部費用	133,370	130,000
	普及部費用	174,352	220,000
	編集部費用	50,000	50,000
	研究部費用	43,940	30,000
	関東ブロッコ協議会会議費	0	400,000
予備費	0	500,000	
仮払金残	45,648	0	
期末繰越金	4,391,599	3,121,599	
	一般会計合計	8,470,853	8,411,599
事業部会計	事業部仕入れ	614,179	600,000
	事業部費用	2,415	10,000
	運営準備積立金	5,000,000	5,000,000
	事業部会計期末繰越金	1,762,609	1,853,609
	事業部会計合計	7,379,203	7,463,609
総合計		15,850,056	15,875,208

新役員



浅見 徹



新井 巖

2006年春 シギ・チドリ類調査報告 日本野鳥の会埼玉県支部研究部

日 時：2006年4月29日 9：30～11：25
 場 所：さいたま市 大久保農耕地
 天 候：曇り

は437羽多くなりました。

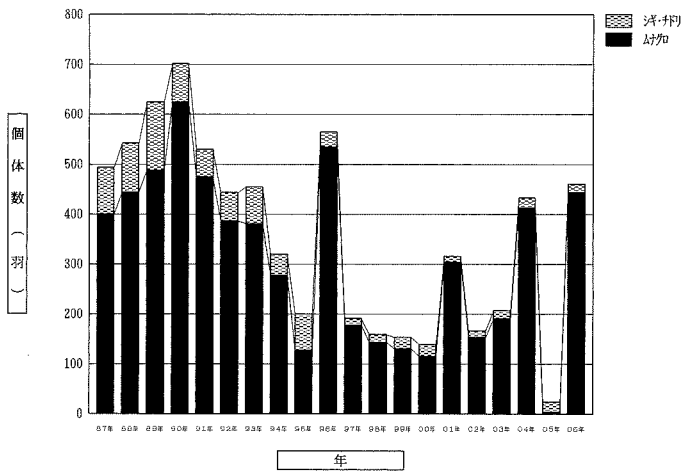
個体数の大幅な増加は、昨年に比べるとムナグロが441羽多かったためです。そして、2年ぶりにムナグロが400羽を越えました。また調査地域以外ですが、調査中に荒川上空を下流に向かって60羽以上のムナグロが通過したことをつけ加えます。

当日は高気圧が東に遠ざかり、関東地方南部を中心に南から湿った空気が入り込んだため、曇りとなりました。また連休の初日にもかかわらず、支部会員13名の協力が得られました。ご苦労さまでした。

グラフは大久保農耕地におけるムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類の個体数を、表は今までのカウント結果をまとめたものです。

観察された鳥類・個体数は7種460羽で、
 昨年(石井 智)の春と比較すると種数で3種、個体数で

ムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類



春のカウント結果 (大久保農耕地)

年	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	合 計
調 査 日	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	
天 候	晴れ	雨	晴れ	曇り	雨	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	快晴	快晴	曇り	晴れ	曇り	晴れ	晴れ	快晴	快晴	曇り	
1 タマシギ				2																	2
2 コチドリ	5	1	2	1	1	4			7	1		1	2	5	2	6	9	4	4	2	57
3 シロチドリ				1																	1
4 ムナグロ	400	444	488	624	474	386	381	277	127	534	178	143	130	115	304	153	190	413	3	444	6208
5 ケリ																1					1
6 キョウジョシギ	3	7	2	2				2	1			2	4		2	1		1		3	30
7 トウネン				1																	1
8 ウズラシギ	2		2		1	1															6
9 ハマシギ	2		10	30			24	1		9											76
10 アオアシシギ			4		2	1	7	3				7								2	26
11 タカブシギ	50	52	69	16	4	6	6	13	25	5			1	5	2	1	1	6			262
12 キアシシギ	2			3								2	1					2		1	11
13 イソシギ	2		1									1									5
14 オグロシギ				1																	1
15 チュウシャクシギ	12	6	7	8	3	1	13	12	11	3	10	2	5	11	4	2	3	6	3	5	127
16 コシヤクシギ				1																	1
17 タシギ	14	30	39	11	43	36	21	10	26	12	3	6	3	3		1	2		13	3	276
18 オオジシギ																1	1				2
19 ジシギ属	1	1				3	2	1	2			1									11
20 アカエビリアシギ*			1																		1
シギ類						5															5
合 計	493	542	624	701	528	443	454	319	199	564	191	158	153	139	315	166	206	432	23	460	7110

野鳥記録委員会の最新情報

●シロハラクイナ

英名 White-breasted Waterhen

学名 *Amaurornis phoenicurus*

分類 ツル目クイナ科シロハラクイナ属



2006年6月14日(水)、さいたま市桜区塚本、通称大久保農耕地B区で発見され、多くの人によって撮影されています。この写真は、6月24日(土)松村禎夫会員が撮影しました。

県内では、1987年12月27日(日)、蓮田市黒浜沼で観察された例(本誌1988年4月第47号で略報、同年8月第51号で詳報。写真なし)と、BIRDER誌(東京都・文一総合出版)1995年5月号に、1994年11月23日埼玉県日高市

栗坪巾着田天神橋付近で撮影された本種の写真が掲載され、当委員会で検討した結果、県内初の確認記録とすることを、本誌1995年10月第138号で報告した例があります。

したがって、今回は2例目の確認記録ということになります。2羽観察されており、繁殖の可能性も考えられています。

本種は中国南部・台湾・フィリピン・インドシナ・インドなどに分布し、国内では、沖縄県で留鳥として生息しています。

鹿児島県などでは繁殖記録があり、九州・四国・本州では迷鳥として記録されていますが、近年東のほうに分布を広げていると言われます。2004年4月から5月ごろ都内練馬区光が丘公園で観察されたことは、本誌2004年6月第242号で報告しています。

なお、本年6月30日付け読売新聞埼玉県版などには、6月28日春日部市内でも本種2羽が写真撮影されたとの記事が掲載されています。これは確認記録の3例目になります。

お願い 写真撮影のための近寄り過ぎ、追いかけ、包囲、長時間多人数での待ち受けなどのないように、ご注意をお願いします。

カワウ協議会報告

○関東カワウ広域協議会から

テレビや新聞等で報道されている様に、全国的にカワウによる河川や湖沼の内水面漁業資源の被害が大きな問題となっている。

カワウは片道50kmの飛行能力を持ち、県を超えた対策が必要のため、環境省は関東に静岡東部、福島を加えた広域協議会を2005年に設立した。各県の野鳥の会支部等、内水面漁協、釣振興会支部の民間団体、各県の自然環境部門、水産部門、治水部門、そして環境省、水産庁、国土交通省、専門家が集まった。

前年4/27、6/13、11/28と3回の広域協議会が開催され「関東カワウ広域保護管理指針」が決定された。主な内容は次の通り。

- カワウによる内水面漁業被害を軽減する。
- 地域毎に生息するカワウ個体群の絶滅を防ぐ。

○埼玉県カワウ対策協議会から

関東カワウ広域協議会に並行し県単位の協議会が2005年から設置されている。出席団体は、当県支部、県生態系保護協会、日本釣振興会県支部、県漁業協同組合連合会、県みどり自然課、県生産振興課、県河川砂防課、国営武蔵丘陵森林公園管理事務所(国土交通省)である。

各県協議会の役割は、「関東カワウ広域保護管理指針」に準拠し県単位の具体策の検討と実施である。

一方、埼玉県議会では2005年6月定例議会で「カワウの魚食被害防止について抜本的な対策を求める請願書」が採択されている。

埼玉県カワウ対策協議会は関東カワウ広域協議会と関係を取り、前年7/21、9/11に県協議会が開催され、県内におけるカワウの状況と各団体の基本認識等について討議した。

(小荷田行男)



野鳥情報

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇3月15日、上空をツミらしき猛禽が飛翔。プレーキテーストコース南端のアスファルト上に採餌中の小鳥の姿。アオジかと思って双眼鏡を見たら、長い舌をペロペロ出しているアリスイだった。越冬ではないかと思うが…。タシギ2羽。3月22日、ウグイスのさえずり、カケスやベニマシコの声。3月27日、カイツブリ、カワウ、カルガモ、マガモ♂1羽♀1羽、コガモ、コゲラ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、アオジ、カシラダカ約20羽、オオジュリン、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ♂1羽、カワセミ2羽、ツバメ(初認)、カケス4羽、シメなど計26種。4月2日、キジ(声)、セグロセキレイ、ハクセキレイ、モズ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、アオジ(♂1羽は左顔面のみ淡黄色で、いわゆる色素異常の様相)、カシラダカ約20羽、オオジュリン、ホオジロ、シメ、ベニマシコ♂1羽♀1羽、ツグミ、ジョウビタキ♀1羽、ツバメなど計27種。4月3日、カワウ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、マガモ、イソシギ、コチドリ、セグロカモメ2羽、コジュケイ、コゲラ、セグロセキレイ、モズ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、アオジ、シメ、ベニマシコ(声)、シロハラ♂1羽♀1羽、ツグミ、ジョウビタキ♀1羽など計30種。4月6日、岩槻大橋付近でツバメ10羽近く飛び交う。元荒川水際でオジロトウネン1羽、初めトウネンかと思ったが、脚が黄色、夏羽だった。4月8日、カイツブリ、カワウ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、マガモ♂1羽♀1羽、コチドリ、セグロカモメ成鳥1羽、ダイサギ、チョウゲンボウ♀1羽、ヒバリ(声)、ツバメ、モズ(そろそろ繁殖か?)、何とヒレンジャク2羽、ジョウビタキ♀1羽、アカハラ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、ベニマシコ(声)、シメ、カケスなど計39種(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区野孫 ◇3月31日、ケリ2羽確認。4月3日、7日にも確認したが、7日は1羽のみでちょっと心配(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区上野 ◇4月7日、城北大橋の北側でシロコバト4羽。元荒川でセグロカモメ1羽(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区掛 ◇5月1日早朝、田んぼでムナグロ52羽、タシギ1羽。5月2日早朝、ムナグロ2羽、チュウサギ2羽、アマサギ4羽、ダイサギ2羽、コサギ3羽、カルガモ、オオカワラヒワ。5月9日、ムナグロ34羽、コジュケイ、セグロセキレイ、カルガモ、カワラヒワなど(本多己秀)。

さいたま市見沼区大谷環境広場 ◇3月15日、クサシギが尾を振り振り採餌。コチドリ4羽、イカルチドリ1羽、タシギ1羽、タヒバリ、ツグミ、ハクセキレイなど(鈴木紀雄)。

さいたま市見沼区丸ヶ崎 ◇5月1日早朝、田んぼでムナグロ18羽、アマサギ3羽(初認)、ヒバリ、オオヨシキリ、ツバメ。5月3日早朝、ムナグロ17羽、イソシギ2羽など。5月6日、ムナグロ44羽、セグロセキレイ、オオヨシキリ、セッカ、ツバメ、ヒバリ、ダイサギ1羽、目元が美しい空色。5月9日、ムナグロ47羽、セグロセキレイ、ハクセキレイ、セッカ、オオヨシキリ、ツバメ、ヒバリ、カワラヒワ。5月11日早朝、ムナグロ44羽、タシギ3羽、コチドリ1羽、オオヨシキリ、ヒバリなど。5月12日、ムナグロ45羽、オオヨシキリ、コヨシキリ、セッカ、ツバメ(本多己秀)。

さいたま市見沼区深作調節池 ◇5月3日早朝、コアジサシ3羽(当地初認)、パン、カイツブリ、ハシビロガモ、カルガモ、コガモ、タシギ1羽、ゴイサギ12羽、カワウ、ツバメ、オオヨシキリ、カワラヒワ(本多己秀)。

さいたま市緑区上山口新田 ◇5月8日、田んぼにムナグロを見に行った時に芝川の土手を歩きました。芝川三崎の水門付近はカワセミが出るのでウォッチするとアカガシラサギが1羽出ました。干潟にいました。が飛ぶと羽根の白さが印象的でした(楠見

邦博)。◇5月17日、ムナグロ8羽、コサギ1羽、コチドリ2羽、カルガモ3羽がすっかり苗を植え終わった田んぼで採餌。遠くの代用水ベリの斜面林でカッコウが鳴いていた(赤堀尚義)。

さいたま市桜区大久保農耕地 ◇5月17日午後5時45分頃、A区中央部の畦に夏羽のヘラシギ1羽。他には、ムナグロ30羽十、キアシシギ3羽、チュウシャクシギ1羽(山田東二)。◇5月21日、Aside区でキアシシギ2羽、ムナグロ10羽十(井内寛裕)。

越谷市県民健康福祉村 ◇3月23日、アオサギ、ダイサギ、コサギ、コガモ、ハンビロガモ、バン2羽、オオバン5羽、ユリカモメ成鳥1羽、若鳥2羽、セグロカモメ成鳥1羽、オオジュリン、セッカ、モズそして夏羽のカシラダカ(鈴木紀雄)。◇5月15日、サイクリングコースの外側にあるカシの木にとまったコゲラが急に見えなくなった。よく見ると、高さ7m位のところで枝打ちした切り口の下が枯れていて、そこに径5cm位の穴が空いている。しばらくすると、そこからコゲラが出てきて飛び去った。するとすぐに別のコゲラが飛んできて穴に入っていった。コゲラ夫婦の子育てらしい(佐藤宏)。

蓮田市黒浜 ◇4月7日、上沼でカルガモ約10羽、コガモ20羽十、コチドリ2羽、カワウ、バン1羽、オオバン1羽、カイツブリ7羽。キジ♂が道路を歩いていた。カシラダカも夏羽、ダイサギも目先がグリーンになってきた。ツバメも飛ぶ。コサギの冠羽も伸びてきた。まだいるオオジュリン。療養所内では桜の花にメジロ約50羽、ヒヨドリ約20羽。エナガ1羽確認。シジュウカラがさえずっている。ツグミ、アオジ、シメ、カケス約3羽がまだいた。「ジジ…」とルリビタキの声も(鈴木紀雄)。◇5月11日早朝、ムナグロ56羽、久し振りに当地で確認。コサギ、ダイサギ、ゴイサギ、ヒバリ、ツバメ。5月12日、沼でコアジサシ1羽、キジ♂3羽、カイツブリ、カワウ、コサギ、カルガモ(本多己秀)。

蓮田市蓮田 ◇5月3日、チュウシャクシギ

1羽、ムナグロ2羽。5月4日、チュウシヤクシギ2羽、コチドリ1羽、ツバメ、コサギ、ダイサギ2羽(本多己秀)。

蓮田市馬込 ◇5月5日、田んぼでコサギ4羽、求愛行動(本多己秀)。

蓮田市笹山 ◇5月5日、田んぼでチュウサギ夏羽6羽(本多己秀)。

草加市柿の木田んぼ ◇5月5日午前11時30分、コサギ1羽、ダイサギ1羽、アマサギ3羽、アオサギ1羽、ムナグロ30~40羽、チュウシャクシギ7羽、キアシシギ3羽、ツグミ1羽(小菅靖)。

越谷市七佐町8丁目 ◇5月14日午後5時、電線にとまって鳴いているシラコバト1羽。5月15日午前6時45分、上空を鳴きながらケリ1羽通過(小菅靖)。

深谷市本田荒川 ◇4月15日、白鳥飛来地川岸近くの小さな中州の水際でオジロトウネン2羽、ほぼ冬羽でした(鈴木敬)。

小川町西古里 ◇4月22日、谷津田の林縁の樹上でアオバト♀1羽。キジバトかと思っで双眼鏡に入れたので、少し得をした気分(鈴木敬)。

騎西町騎西中央公園 ◇5月4日 サンコウチョウ♂1羽。いるんですね、渡りの時期にはこういうところにも。思いがけない場所での出会いでした。中里裕一氏が発見者です(榎本秀和)。

所沢市山口 ◇5月5日午前5時25分頃、自宅室内でキビタキのさえずりに気がつきました。家事もそこそこに双眼鏡を持って外に飛び出しました。マンションの西側、南側角、約20~30mの間で、きれいな成鳥♂1羽が桜やケヤキの木々を移動しながら盛んに鳴いています。自宅に戻り窓から隣家の枝垂桜の天辺に止まった姿を写真に収めようとピントを合わせていたら北に飛んでしまいました。GWの早朝30分余りの夢のようなできごとでした(小林茂・ますみ)。

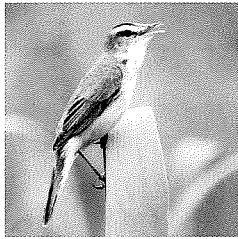
表紙の写真

スズメ目シジュウカラ科シジュウカラ属シジュウカラ

5月31日さいたま市緑区で撮影：落合英二



行事案内



ココシキリ(松村禎夫)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちもあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費：一般 100 円、会員と中学生以下 50 円。持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば双眼鏡などの観察用具も(なくても大丈夫)。解散時刻：特に記載のない場合正午から午後 1 時ごろ。悪天候の場合は中止、小雨決行です。

できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：8月6日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園駐車場。

交通：JR高崎線北本駅西口アイメガネ前から北里メディカルセンター病院行きバス8:31発で「自然観察公園前」下車。

担当：浅見、岡安、大坂、内藤、島田、立岩、永野(安)、永野(京)、山野、長谷川
見どころ：蝉時雨のにぎやかなこの頃、「空蝉の一太刀浴びし背中かな」(朱鳥)。抜け殻が枝や葉に見られます。蝉で鳥の



鳥友S氏宅の台所付近で撮影しましたS氏ではなく、タヌキです(佐久間博文)

声が聞こえないのは如何ともし難いのですが、避暑に出かけずに休む居残りの鳥たちに、残暑見舞いかたがた会いにいらっしやいませんか。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：8月13日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居8:49発に乗車。

担当：中里、和田、森本、大澤、倉崎、高橋(ふ)、後藤、藤田(裕)、栗原、飛田、新井(巖)、千島

見どころ：立秋も過ぎて暑さもだいぶやわらいで、と言いたいところですが、まだまだ暑い日が続きます。それでもシギやチドリの渡りは始まり、大麻生の河原にも立ち寄ってくれているでしょう。木陰に涼風を求めて歩きます。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：8月19日(土)午後3時～4時ころ

会場：支部事務局 108 号室

案内：今年の夏の暑さは、平年並みの予想だそうですが、朝夕は別として日中はまだまだ暑い。そんな中、袋づめご苦労様です。よろしくお願ひします。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：8月20日(日)

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：楠見、福井、倉林、渡辺(周)、若林、小菅、赤堀、新部、青木、増田、宇野澤

見どころ：夏休みも残り少なになりました。例年8月の探鳥会は「夏休みの宿題」を仕上げるために親子連れもやってきます。これをきっかけに自然に親しみ、見沼のよさを感じてくれればと思います。今年も「鳥博士」の卵が何組生まれるか楽しみです。静かな夏の見沼田んぼへどうぞ。

ふなばし三番瀬海浜公園探鳥会

期日：8月20日(日)

集合：午前9時30分、JR総武線船橋駅改札口付近。集合後京成バス9:40発海浜公園行きに乗車、終点下車。

交通：JR武蔵野線南浦和8:29→西船橋にて総武線乗り換え、船橋下車。

担当：佐久間、菱沼(一)、玉井、齋藤、高橋(優)

見どころ：日本有数の渡り鳥の休憩地、三番瀬でシギやチドリの秋の渡りを見ましょう。アジサシ、コアジサシの大群は見ものです。埼玉ではあまりみられない鳥たちが多々楽しめます。

注意：海浜は日陰が無く、日差しも強いので紫外線対策はしっかりと。



こちらはホンドキツネ(編集部)

千葉県習志野市・谷津干潟探鳥会

期日：8月27日(日)

集合：午前9時40分、JR武蔵野線南船橋駅改札口付近。

交通：JR武蔵野線武蔵浦和8:35→南浦和8:38→南船橋9:29着(直通)。

担当：杉本、菱沼(一)、手塚、長谷部、伊藤(芳)

見どころ：南へ帰る途中のシギ・チドリを見ます。春より華やかさはありませんが珍鳥が出やすい季節です。まだまだ日差しも強いので暑さ対策をしっかりしてお出かけください。

リーダー研修会(要予約)

期日：9月3日(日)

午前9時30分～午後5時
(受付開始は午前9時より)。

会場：さいたま市民会館うらわ、503会議室
さいたま市浦和区仲町2-10-22

TEL 048-822-7101 <http://www.saitama-culture.jp/urawa/>

交通：京浜東北線浦和駅西口から、徒歩約10分。駅前大通を真っすぐに西へ進み。さいたま会館手前の角を右折して約400m。

申し込み：初めてリーダー研修会に参加される方は8月10日までに往復はがきにて住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記して、橋口長和

へ。
役員リーダーの方も必ず、橋口まで電話またはメールで申し込みをお願いします。

参加資格：探鳥会や、支部活動にリーダーとして協力できる支部会員。

案内：当支部は、会員のボランティアで探鳥会の運営をはじめすべての支部活動を行っています。貴方の新鮮な力を支部活動に生かしてください。今日までの支部の足跡、活動の現況、リーダーの役割などを学び、皆で意見交換などをします。

その他：筆記用具は持参してください。



行事報告

12月10～11日(土～日) 千葉県 銚子探鳥会

参加：18名 天気：10日=晴、11日=曇

カイツブリ ハジロカイツブリ ミミカイツブリ
カンムリカイツブリ カワウ ウミウ ヒメウ
ダイサギ コサギ クロサギ アオサギ ヒシク
イ マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ
ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハ
ジロ キンクロハジロ スズガモ シノリガモ
ミコアイサ ウミアイサ トビ ノスリ ハヤブ
サ チョウゲンボウ オオバン シロチドリ ハ
マシギ クサシギ ミユビシギ ミヤコドリ ユ
リカモメ セグロカモメ オオセグロカモメ シ
ロカモメ ウミネコ ミツユビカモメ キジバト
カワセミ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキ
レイ タヒバリ ヒヨドリ モズ イソヒヨドリ
ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ カ
シラダカ アオジ カワラヒワ スズメ ムクド
リ ハシボソガラス ハシブトガラス (61種) 茨
城県江戸崎の稲波干拓地で亜種オオヒシクイを観
察。その後、波崎港に移動し、港周辺でお目当
てのカモメ類やシロチドリやハマシギのパレードを
見て銚子港の宿へ。翌日は早朝にNTTの鉄塔に
住み着いているハヤブサにご挨拶。銚子港内では
“タダカモメ”には振られカモメ類6種、シノリ
ガモとミヤコドリをゲットし61種で海鳥探鳥会を
締めくくった。(橋口長和)

1月14日(土) 松伏町 みどりの丘公園

参加者：6名 天気：曇

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサ
ギ カルガモ コガモ ハシビロガモ ホシハジ
ロ キンクロハジロ ミコアイサ チョウゲンボ
ウ オオバン イカルチドリ タシギ セグロカ
モメ シラコバト キジバト ヒバリ ハクセキ
レイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モ
ズ ツグミ ホオジロ カシラダカ カワラヒワ
スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガ
ラス (32種) 早朝は冷たい雨で開催が危ぶまれた
が天気は何となく持ちこたえた。参加者はリーダ

ーを入れて6名とアットホームな探鳥会。みどりの
丘公園は中央の道路が無くなり、池の裏からこ
っそり観察するしかなくなった。去年も来ていた
ミコアイサの雌2羽が目立った存在で、前週結氷
したこともありカモ類が少なかった。(橋口長和)

2月18日(土) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加：44名 天気：晴

カイツブリ カワウ アオサギ マガモ カルガ
モ コガモ オカヨシガモ ハシビロガモ ホシ
ハジロ キンクロハジロ オオタカ ハイタカ
ノスリ バン キジバト コゲラ ヒヨドリ ル
リビタキ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウ
グイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジ
ロ カシラダカ アオジ カワラヒワ スズメ
カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (33
種) 穏やかな日差しで、風がなく絶好の探鳥会だ
ったが、やはり鳥は少ない。タカ3種で我慢して
いただいた。来年を期待したい。鳥合わせの後、
原種シクラメンを見に行った。(喜多俊次)

3月5日(日) 蓮田市 黒浜沼

参加：60名 天気：晴

カイツブリ カワウ カルガモ コガモ オオ
タカ キジ オオバン イカルチドリ キジバト
カワセミ コゲラ ハクセキレイ セグロセキ
レイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウ
グイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシ
ラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ ス
ズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシ
ブトガラス (30種) スタート直後にオオジュリン
をじっくり見た後、上沼で人気のカワセミを見つ
けた。林に入ると数羽のウグイスが囀りの練習を
始め、中にはほぼ完成に近いものもあって春到来
を感じさせてくれた。その上、胸の縞が見えるほ
ど低くからオオタカが飛び出して感激した。付録
にタヌキが姿を現して、好天気の良い探鳥
会を終了した。(玉井正晴)

3月11日(土) 加須市 加須はなさき公園

参加：67名 天気：快晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ カル
ガモ コガモ ヒドリガモ ハシビロガモ オ
オタカ チョウゲンボウ キジバト カワセミ ヒ
バリ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビ

タキ ツグミ ウグイス メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (29種) 夜来の雨も上がり、早春の日差しがまぶしい青毛堀川で、歩き始めたばかりにカワセミが出て、一気に盛り上がった。公園の池では飛去前のヒドリガモやハシビロガモを観察。植物園ではウグイスの初音に歓声が上がった。ジョウビタキは数人しか見られなかったが、黄色が印象的なカワラヒワの轉りに、ホバリングやダイビングを何度も見せてくれたカワセミの番に、探鳥の列が一塊になった。葦原では飛去前のカシラダカやツグミが楽しめた。参加者一同カワセミを堪能した公園との第3回共催探鳥会だった。(長嶋宏之)

3月12日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 41名 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ コハクチョウ マガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ ホシハジロ キンクロハジロ ホオジロガモ ミコアイサ トビ オオタカ ノスリ オオバン イカルチドリ キジバト アオゲラ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (43種) 土手にはオオイヌノフグリ、ホトケノザ、ナズナが咲き、蝶が舞い、梢にはノスリが止まり、水辺にはハクチョウ、カモたちが全員集合。温かい1日だった。(島田恵司)

3月12日(日) さいたま市 見沼自然公園

参加: 54名 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ オオタカ バン オオバン タシギ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (33種) 桜の蕾もふくらみ始め、春めいた暖かな日だった。見沼んぼでは、ヒバリが気持ち良くさえずっており、思わず深呼吸したくなるほどだった。後半より

徐々に出現数も増え始め、オオタカ、カワセミも姿を見せた。自然公園の池では、カモ類の個体数の少なさを改めて感じた。次期には沢山の数が帰ってくるよう祈って探鳥会を終了。(工藤洋三)

3月18日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 11名

海老原教子、大坂幸男、尾崎甲四郎、佐久間博文、島田貴子、千野安以、手塚正義、檜山大介、檜山秀樹、藤野富代、松村禎夫

3月19日(日) さいたま市 三室地区

参加: 43名 天気: 曇

カイツブリ カワウ コサギ カルガモ コガモ オカヨシガモ ハシビロガモ バン コチドリ イソシギ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ オオジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) 見沼は花盛り。花の探鳥会で花桃の枝にツグミが止って可愛い。いつもと同じところでも逆に歩くと別の風景が見えてくる。レンギョウ、モクレン、菜の花。後半は強風になり、斜面林に入って長屋門で日向ぼっこする。おしゃべりが弾んで梅の花にメジロが飛んで来た。(楠見邦博)

3月19日(日) 松伏町 松伏記念公園

参加: 29名 天気: 曇後晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ チョウゲンボウ バン オオバン セグロカモメ シラコバト キジバト ヒバリ ハクセキレイ ヒヨドリ ツグミ ウグイス メジロ ホオジロ ホオアカ アオジ オオジュリン カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (29種) 目まぐるしく変わる天候だった。地元松伏中央公民館からの参加者も加わって、早春の公園と赤岩農耕地を歩いた。心配したシラコバトを開始直後に見ることができた。「北帰行」間近のコガモやヒドリガモを始めとする冬鳥たちに順次別れを告げ、ヒバリの天上の音楽を背に帰途につこうとしたら、最後にチョウゲンボウが飛来。ハンティングの勇姿を見せてくれたので皆さん大満足。少し早めのお開きとした。(田邊八州雄)



カンムリワシ (小林ますみ)

連絡帳

●今年度の重点活動

本誌2ページの総会特集でご報告したとおり、今年度は、会員増加と渡良瀬遊水池ラムサール登録署名活動に力を入れて活動することになりました。

会員増加は、何かひとつの決め手があるわけではありません。例えば探鳥会におけるきめ細かい入会案内とリーフレット「埼玉県支部のばあい」を挟み込んだ入会パフレットの配布、支部自体がより魅力的になる努力などの積み重ねが必要ではないかと考えています。

渡良瀬遊水池の署名活動では、千野安さんから200名以上の署名と切手のご寄付をいただきました。多くの方々にご協力いただいています。引き続きよろしくお願ひします。

●福井鳥獣保護員が受賞

5月14日都内日比谷公会堂で開催された第60回野鳥保護の集いで、当支部福井恒人の長年にわたる鳥獣保護活動が認められ、環境省自然環境局長賞を受賞しました。

●群馬県支部の支部長交代

前支部長・横堀武から新支部長・浅川千佳夫に交代すると連絡がありました。

●鳥根県支部から署名協力依頼

出雲市平田地区に建設が計画されている大

型風力発電に、島根半島の自然保護と歴史的文化的景観保全の立場から反対するもので、出雲の風土を伝える会、島根自然保護協会などと連名になっています。

事務局・署名送付先：

、石橋博、電話・FAX

●普及活動

6月10日(土)さいたま市立博物館と三室公民館共催の親子探鳥会が見沼田んぼ周辺で開催され、楠見邦博、倉林宗太郎、新部泰治、赤堀尚義が指導しました。

6月30日(金)川越市立高階南小学校5年生の総合的な学習の時間で、藤掛保司が「寺尾調節池の野鳥」についての話と校庭での実技指導をしました。

●ごめんなさいコーナー

前号2ページ「ノスリ」は、小さな写真を拡大してみたら、なんとサシバに変身しました。

●事務局の予定

8月5日(土) 編集部・普及部・研究部会議。

8月12日(土) 9月号校正(午後4時から)。

8月19日(土) 袋づめの会(午後3時から)。

8月20日(日) 役員会(午後4時から)。

●会員数は

7月1日現在2,299人です。

活動報告

6月10日(土) 7月号校正(海老原美夫・大坂幸男・喜多峻次・藤掛保司・山田義郎)。

6月18日(日) 役員会(司会:藤掛保司、各部の報告・総会準備・その他)。

6月19日(月) 7月号を発送(倉林宗太郎)。

編集後記

寿司屋の湯飲みに魚偏の字がいろいろ書いてあるのを見て、孫に鳥偏を聞かれた。「鳩」や「鶴」など、知っている字は旁ばかり。鳥はなぜ偏がほとんどなく、旁ばかりなのか、知っている人、教えて。(内藤)

しらこぼと 2006年8月号(第268号) 定価200円(会員の購読料は会費に含まれます)

発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉支部 郵便振替 00190-3-121130
〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号
TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 http://35.tok2.com/wbsjsaitama/
編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com

住所変更退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1階
(財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608

本誌掲載記事はホームページに転載されます。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。再生コート紙を使用しています。 印刷 関東図書株式会社